

第80回一般質問一覧表

3. 3. 24

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	村岡栄紀	ポスト・コロナの新しい学校教育を推進せよ	<p>①昨年、長期にわたる臨時休校で起きた、教育の履修の遅れや、それに伴う子供たちのストレスをはじめとする、心配されていた諸種の問題や課題についての現状は。</p> <p>②コロナ以前の学校に戻り、学習や行事を取り戻す。オンラインを緊急的なものにとらえ、まずは今までどおりの授業や行事ができるようにして、授業や時数を進めるといふ考え方に対しての是非は。</p> <p>③小学1年生から中学3年生までの児童生徒＋指導者に対して1人1台のオンライン環境というインフラ整備をされたが、学校における現在の活用、進捗状況は。</p> <p>④目の前の子どもたちに、今できることを精一杯やっけて行く中で、リアルとオンラインを切り替えながら、子どもたちが安心して、落ち着いて学び生活する場を整えていくことがまず重要であるとするが。（ウィズコロナの時代という観点での本市の方向性は）</p> <p>⑤GIGAスクール構想で、1人1台のパソコンの配布と学校のICT環境整備が進む中、それらを使って、本市ではどういった目的を実現していこうとしているのか。（ウィズコロナの時代に必要な「学び手目線」ということをふまえて問う）</p> <p>⑥オンライン授業等を学校教育の時間短縮や効率化の道具といった無味乾燥なものにしないために、かつ、格差の拡大につながらないための取組として、先生と子どもたち、子どもたち同士、先生と保護者などとの「温かいつながり」をどのように構築していくのか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			⑦ ウィズコロナの時代において「三密を避ける」というキーワードが当分の間続くと思われる中で、どのようにしてアクティブ・ラーニングや主体的・対話的で深い学びに関する取組を展開していくのか。	
			⑧ 「非認知的能力」は、一昔前の時代なら家庭や地域などとの様々な人間関係や生活、遊びを通じて、当たり前のように育っていたが、今の時代の子どもたちはそういった経験が出来にくく、非認知的能力が育ちにくいといわれているが。	
			⑨ ウィズコロナの時代における学校教育において、学力だけでなく、コミュニケーション能力をはじめとする非認知的能力を子どもたちに身に着けさせるための施策は。	
			⑩ 子どもたちの生活環境において、学校での市民性教育や、地域における市民活動への参加や、社会的経験の機会を充実させることにより、社会への関心を広げていくことが今後ますます重要になっていくと考えるが。	
			⑪ これまでの人材育成のための学習環境の整備、学校・家庭・地域との連携の中での教育など、子どもたちの明るい未来につながる「生きる力」の構築への本市の挑戦に対する教育長の現状評価は。	教育長
			⑫ コロナ禍の経験を、学校教育のバージョンアップにつなぎ、知育の協働化と徳育の個性化による「どの子も見捨てない、みんなが輝く学校づくり」を目指した、ポスト・コロナの時代における本市の新しい学校教育推進、実現に向けた教育長の決意は。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
2	東野敏弘	コロナ禍における生活困窮者に対する支援、ひきこもり対策について	<p>西脇市における生活困窮者・生活困窮家庭・生活保護家庭の現状・推移を問う。 (全国的にコロナ禍の中で生活困窮者・生活困窮家庭・生活保護家庭が急増していると言われていている。西脇市における現状を問う。)</p>	部長
			<p>コロナ禍の中で生活困窮になった世帯への対応策を問う。 (コロナ禍の中で生活困窮になった世帯への具体的な対応策を問う。併せて、社会福祉協議会が担当している新型コロナウイルス特例貸付「緊急小口資金」「総合支援資金」の利用状況、ハローワークと連携した就労支援についても問う。)</p>	
			<p>市内の小・中学生の家庭で、コロナ禍において生活困窮になった家庭を把握しているか、その際の対応も問う。準要保護家庭への支援を問う。併せて、コロナ禍での不登校生徒の現状と取組を問う。 (こどもの貧困が全国的な課題となっている中、さらにコロナ禍において生活困窮に追い込まれている小・中学生の家庭が数多く出てきていると言われていている。市内の小・中学生の家庭の中で生活困窮に追い込まれている家庭を把握しているか。また、その際の対応も問う。併せて、準要保護家庭への支援の充実を問う。併せて、コロナ禍での不登校生徒の現状と取組を問う。)</p>	部長 教育長
			<p>西脇市の孤独・孤立・ひきこもりの現状について問う。 (新型コロナウイルス感染症拡大により、市民の中に孤独・孤立になりがちな方が増えてきているように感じる。家庭に引きこもりがちな市民の方々も増えてきているように思う。どのように、現状を把握しているのか。)</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>西脇市のひきこもり対策の窓口設置について</p> <p>(施政方針の中で、来年度、ひきこもり対策の窓口を設置すると述べられている。時宜を得た設置だと考えるが、ひきこもりの方をどのように掘り起こし、支援していくのかを問う。)</p>	市長
			<p>コロナ禍における生活困窮者に対する支援とひきこもり対策について、市長の考えを問う。</p> <p>(コロナ禍における生活困窮者に対する支援、ひきこもり対策をきめ細かく、粘り強く行っていく必要があると考えるが、市長の考えを問う。)</p>	
3	高瀬 洋	<p>将来の労働人口減少に備えて、少ない職員で多くの成果を得るために</p>	<p>RPA化への取組について</p> <p>(職員の生産性向上や品質向上のため重要であるが取組方法や効果について問う。)</p> <p>① どういった業務に適用していくのか。</p> <p>② どの程度の効果を想定しているのか。</p> <p>③ 今後どのように進めるのか。)</p>	部長
			<p>電子申請について</p> <p>(RPA化と同様に、窓口業務の職員の負荷軽減に有効なのか問う。)</p> <p>① 市役所窓口に来ないでも住民票等を受け取ることができる方法で、昨年からサービスを開始したコンビニでの発行と郵送による発行があるが、それぞれの発行件数は。</p> <p>② 県内でも実施している自治体もあり、密の回避にも有効である。実施する場合の課題やコストはどうか。)</p>	
			<p>ビジネスチャットの活用について</p> <p>(西脇市でも一部で活用し始めているが、この有効性の評価や今後の活用について問う。)</p> <p>① 青少年問題協議会でのビジネスチャットを活用した情報共有の内容と期待できる効果・導入の経緯について問う。</p> <p>② 他にもビジネスチャットが活用できる分野を考えているのか。)</p>	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			デジタル化の流れの中で職員の生産性向上にどう向き合うのか。 (新型コロナウイルス感染症対策を契機としたデジタル化の動きをどのように捉えているか。また、この流れの中、導入に際しての西脇市の課題や方向性について問う。)	市長
4	坂部武美	小中学校におけるトランスジェンダーへの対応について	①トランスジェンダーの把握について ②対応策は。 ・相談できる場は。 ・具体的な対策は。 ・理解するための周知は。 ・校則の見直しは。 ③家族、学校、社会も含めた今後の対応策は。	部長 教育長
5	吉井敏恭	空き家対策条例の制定にあたり	「西脇市空き家等対策計画」の成果について (65戸の取り壊し、83戸の活用の実績の報告を受けているが、目につく老朽危険空き家の多くが現存している。)	部長
			条例の制定を機に取り組む空き家対策について (「空き家」の所有者はもとより、市民への意識啓発が大切である。条例の制定を機に、担当部署を拡充してでも対策に取り組む考えの有無を確認する。)	
			「危険空き家」が長く放置され、「埒(らち)が明かないことへの憤り」に応える対応について (「空家法」と条例の制定により、どの程度、空き家対策を進めようとしているのか。)	市長
6	浅田康子	健幸都市の実現にむけて	人生100年時代といわれており、各自治体とも健康で暮らせるまちづくりの施策に取り組んでいる。筑波大学の研究によるフレイル予防のシステムを取り入れた経緯は。	理事
			運動教室Ni-Coの参加や、フレイルの予防をすることにより、医療費や介護費にどのような効果があるのか。	
			西脇市の健康二次被害を防止するための取組を聞く。	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			新しい公共交通が4月からスタートする。便利になった公共交通をいかに利用してもらうかが重要であるが、周知方法や利用を促進する方策は。	部長
			市長が描いている「健幸都市にしわき」の将来像は。	市長
7	中川正則	脱炭素社会に向けた取組について	①電気自動車の推進について ②LED化の推進について	市長
		地域と連携・協働による総合治水対策を	①河川の水位上昇による、内水への対応 ②排水樋門の操作簡略化 ③森林整備の必要性	
8	近藤文博	コロナ禍における商工業の振興について	コロナ禍における内需主導型の経済支援が国・県ともに主要施策であるが、これに対する本市の考えは。 (コロナ禍で大幅に落ち込んだ経済の回復に向け、国・県ともに内需主導型の経済支援方針が続くが、本市としてこれらの支援施策を有効に活用する方策は。)	部長
			中でも市の商工業推進の中心的な役割を担う西脇商工会議所との連携はどのように考えているのか。 (市内事業者の9割以上が中小企業・小規模企業で、きめ細やかな対応が求められる。市行政との効率的な連携の方策はどのように考えるか。)	部長 市長
		令和3年度の予算に対する基本的な考え方について	令和2年度一般会計当初予算額は約252億円に対し、3年度当初予算額は約201億円と大幅に減額となっている。 (減額になった主な要因について、予算常任委員会でも若干説明があったが、基本的な考え方を問う。)	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>来年度もコロナ禍での行政経営になるが、市内経済の大幅減速やそれに伴う所得の減少等々で税収の減少が見込まれるが、対応策は。</p> <p>(税収減に伴う緊縮経営は、市民に負担を強いることにつながる可能性も考えられる。コロナ対策と両輪で市内経済の回復に向けた施策や産業振興策、5月にオープンする新庁舎・市民交流施設の有効活用、健幸都市ウェルネスシティの早期実現等々、施政方針でも謳われた5つの重点施策の実行は市民の将来への安心を提供することにもなると考えるが、市長の決意を問う。)</p> <p>経済の再生については、西脇の繊維業界への依存率が高い産業構造からすると、抜け出すには長期戦の覚悟をしなければならない。</p> <p>(主力業界の回復にも期待するが、今後は稼げる行政を本市として検討してはどうか。すでに多くの市町でそれぞれの地域資産を活用しSDGsをふまえた取組が進んでいる。</p> <p>また、手を挙げる自治体については従来から国は支援を強化している。本市も実績があるが、更なる職員等のアイデアで市民生活の向上に向けた交付金事業の提案も必要。市長の考えを問う。)</p>	
9	村井正信	野良猫の去勢・不妊手術助成制度と地域猫活動について	<p>野良猫の問題として、敷地内に尿や糞をされた、鳴き声がうるさいなどの声を聞く。また、猫を可愛がられる方にとっては、野良猫は命のある動物であり、命をつなぐために餌を与えている人もいる。猫については、飼い猫がいつの間にか妊娠し、子を産み、またその子が子を産むということで、野良猫化することが多々ある。</p> <p>猫に関する苦情について、過去3年間で、市に寄せられた市民からの苦情件数とその内容。また、これらの苦情に対して、市としてどのような対応を講じてきたか。</p> <p>市内での飼い猫の頭数などは把握しているか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>猫は繁殖力が強く、2匹が2年後には500匹に増えることにもなる。動物愛護の観点から、駆除を目的にした猫の捕獲はできない。繁殖を防ぐには、早期の避妊・去勢手術が有効である。しかし、その費用は高く避妊手術の目安として20,000円～40,000円程度かかる。野良猫にこれだけの費用をかける人は少なく、野良猫の問題はなかなか解決しない。西脇市で野良猫の不妊・去勢手術費の一部を補助する制度を創設し、野良猫問題改善に取り組むべき。</p>	市長
			<p>地域猫活動の取組について (地域猫活動とは、地域住民の理解と協力を得て、動物愛護の精神に基づき、不妊・去勢手術で地域に暮らす猫の命を奪わずに生息数を減らすことで、野良猫への対応と猫のもたらすトラブルを解決していくことである。例えば、地域猫活動事業では、餌を置いて片付けをする、ふん尿の片付けもして、きちんと面倒を見ることとある。事業を推進する人が協力しながら進めていくものである。 市として、地域で取り組む人を増やし、野良猫を地域猫としてボランティアの皆さんがスムーズに取り組める素地を作るようPRを求める。)</p>	
		<p>男女が共に働く職場環境の改善に向けて</p>	<p>2017(平29)年策定の「第2次参画基本プラン・パートナー・改訂版」では2021(令3)年度を目標とする計画になっていることから、現在の到達点と目標到達のための対応策等を聞く。</p> <p>2017(平29)年策定の「第2次男女共同参画基本プラン・パートナー(改訂版)」に基づく特徴的な取組を聞く。それによる市民意識の変化などを掴んでいるか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>「第2次参画基本プラン(改訂版)」では2021(令3)年度を目標とした市職員に関連する目標数値が記載されている。また、特定事業主による職業選択に資する情報の公表が定められており、西脇市の公表数値が記載されている。</p> <p>それに記載されていない行政職員の年次有給休暇の平均取得日数は何日か。</p>	
			<p>これらの目標数値と実績値の数字についてどのように評価しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女別育児休業取得率 ・男性の配偶者出産休暇取得割合 ・男性の育児参加休暇の取得割合 ・行政職における管理者の割合 ・行政職員の年次有給休暇の平均取得日数 	
			<p>約10年前に採用した職員の男女別継続任用割合では、男性職員の退職が半数ほどであるが、その理由はどこにあると考えているか。</p>	
			<p>2016(平28)年に実施された「西脇市男女共同参画市民意識・実態調査」の結果を見ると、事業所として男女共同参画社会の実現のために必要なことでは、「仕事と家庭の両立を可能にする環境整備が必要」「配置・昇進・教育訓練における男女差をなくすこと」が上位を占めている。</p> <p>女性が男性と同じように働き続けるためには、育児・介護などの休暇が取れ、長時間労働がないこと、そして、仕事と家庭の両立を可能にする環境整備が重要である。これに対してどのように取り組んでいるか。</p>	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>管理職の登用で男性と女性との登用差をどのように考えているか。</p> <p>(行政職では、2020年4月1日現在で課長以上の管理職58人中、女性は10人で、女性割合は17.2%である。この割合について市長はどのように評価しているか。女性の管理職登用を進めていく考えについて聞く。</p> <p>特に、平成27年度以降女性の部長は皆無である。市長は、女性の部長登用についてどう考えているか。)</p>	市長
			<p>仕事と家庭の両立を可能にする職場の環境整備について、どのように考えているか。</p>	
10	寺北建樹	子育て施策のさらなる充実を求めて	<p>乳幼児等医療費助成事業、こども医療費助成事業について</p> <p>①現状について</p> <p>②所得制限の撤廃を求める。</p> <p>③18歳(高校卒業)までの拡大を求める。</p>	市長
			<p>国民健康保険税均等割の減免について</p> <p>①西脇市の対象者数と必要額</p> <p>②県下の状況について</p>	
		西脇市水道事業経営戦略(平成29年度～48年度)について	<p>投資財政計画の進捗状況をどう分析・評価しているか。</p> <p>基本水量・基本料金の引き下げは可能ではないか。</p> <p>①県下の状況について</p> <p>②(家庭用)2カ月20m³以下の現状について</p> <p>③基本水量・基本料金の引き下げは可能ではないか。</p>	

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
11	林 晴信	まちづくり (市民提案 型まちづく り事業補助 金)	市民提案型まちづくり事業補助金の予算常 任委員会での答弁について (ひとつひとつ確認する。)	部長
			市民提案型まちづくり事業の存在意義と今後 (存在意義と今後について問う。)	
		ひとりから 始める／始 まる まち づくり(個 人の思いを カタチにす る制度)	思いを提案したい場合、やりたいが仲間が いない場合 (どうするのか。既存の制度は。)	
			やりたいまちづくり事業があるわけではな いが、何かしらまちづくり活動をやってみ たい気はある。しかし、既存の活動団体は 何かしら参加しづらい。 (どうするのか。既存の制度は。)	
			インターネットを使った場の提供 (ICTを使い、提案事業に賛同者が参加 できる仕組みづくり)	
		市民参加型 合意形成プ ラットフォ ーム デシ ディムにつ いて	加古川市が昨年11月から行っているデシデ ィムについて、どう見ているか。	
西脇市の参画と協働の一手法として研究す べきと考えるがどうか。	市長			